

刻む会

たより

NO. 86

2022年10月1日

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・佐々木明美

事務局

宇部市常盤町一―一九(宇部緑橋教会内)

Tel 0836(21)8003

カンパ振込先

ゆうちょ銀行 □座番号 01590・7・32405

名義 長生炭鉱の「水非常」を歴史に刻む会

年会費

《正会員》個人3,000円 団体5,000円
《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円

ホームページ

<https://www.chouseitankou.com>

メール

chouseitankou@gmail.com

第2回国會議員訪問報告

共同代表 井上 洋子

8月4・5日、臨時国会開催中でコロナ拡大が懸念される中でしたが、5月末に引き続き運営委員松元一也と共に東京に向き、今回も上田慶司さん(戦没者遺骨を家族の元へ連絡会)の助けを借りて、7人の国會議員事務所を訪問しました。

東京での雷のため宇部空港の出発が遅れ、さらに羽田に着くとゲート手前ですべての屋外作業が中止となり、誘導路上にたくさん飛行機が止まってしまいました。これも雷のためで1時間以上閉じ込められ午前の前定は中止となりました。

午後、衆議院第2会館の大石あきこ(れいわ)議員事務所に向くと、秘書が対応してくれました。上田さんが「れいわさんとは初めてです。韓国の戦没者遺骨に取り組んでいますが、DNA鑑定を学術中心に取り組むよ

う、応援をして欲しいのです」と厚労省の問題点を述べていました。この秘書は、福島みずほ議員の元秘書で、2018年の「刻む会」と厚労省との面談に同席されたり厚労省の聴取をしてくれた方でした。「秋田の花岡事件慰霊碑や沖繩のチビチリガマを訪れましたが、一生忘れられないものです」と、長生炭鉱にもかなり関心を寄せて下さり、「日韓の共同事業としてやれば、明るい未来が作れると思います」と語り、「れいわ」に提言してくれると約束してくれました。

次に、参議院会館の福島みずほ議員を訪問しました。議員は広島原水禁大会で不在なので、秘書から政府交渉再開に向けたアドバイスを戴きました。議員の長生炭鉱連絡会みたいなものが見えませんかと思われました。「議員連名で質問書を書いたらいいと思う」「交渉を再開するには、厚労省に対し、調査を可能にする技術の進展や予算の確保ができる法律的な裏づけを提示できれば、仕切り直しができるのではないか、質問の仕方を変えた方がいい。予算も主計局が納得するようなも

のを提示すべきで、今までの遺骨調査費の使用内容など聞いてみるといい。」等々と提言を頂きました。

次に、参議院の沖繩の風・井波(いは)洋一議員に初めて会いました。長生炭鉱事故の資料を渡して概要を説明しましたが、時間をとって熱心に聞いてくれました。

同じく、沖繩の新垣邦男衆院議員も訪問し、秘書に資料を渡し長生炭鉱問題を訴えました。

次の日、早朝から時間をとってくれた大河原雅子衆議院議員の秘書に会いました。上田さんは議員立法の遺骨収集特別措置法の延長はできないのか聞いていました。長生炭鉱問題については、政府との交渉を再開するの、支援をお願いしたいこと、現地にも来て欲しいことを言いました。「議員に報告して、検討したいと思います」とのことです。

時間が経っている中、仁比(にひ)聡平参議院議員に会いに行きました。私たちの訪問を心から歓迎して下さい、面会時間をやりくりして会ってくれ本当に感謝です。調査の予

算を取りたい、年内に政府交渉を再開したい、支援をしてくださいとお願いと「やれることを考えたい」と真摯に受け止めてくれました。

最後に、立憲民主党の近藤昭一衆議院議員に会いました。前回秘書にお渡しした資料に目を通して頂いたようで、時間は短かったのですが、「しっかりと検討しましょう」との返事でした。

前回秘書にお会いした阿部知子衆議院議員は体調不良でキャンセルとなり、とても残念でした。

ハードなスケジュールの議員めぐりでしたが、またひとつ訴えを広げることができたと思います。次回3回目も国会開催中に再度のアタックを試みたいと思います。

仁比(にひ)聡平参議院議員(左)と話をする井上洋子共同代表(右)



近藤昭一衆議院議員(左)と話をする井上洋子共同代表(右)



両議員とも第1回の政府交渉に参加していただきました。

NPO法人化を目指して準備中

運営委員 松元 一也

「刻む会」はこれまで長きにわたって任意団体として取り組んできましたが、結成80年の節目にあたり、これまで懸案事項とされてきた、NPO法人の資格を取得し、来年の総会をもって新たな組織として出発を目指しています。

先日、NPO法人とは何かを調べるため、山口市神田町にある県民活動支援センターに行きました。資料を頂いたのですが、「パソコンのインターネットでやり取りできる環境でないと難しい」といって少しムカつきました。それで県庁の県民生活課でたずねると、「インターネットがないとできないことはありませんよ、提出された書類が適切であればいいのです」とのこと。税金について質問すると「ここでは正確なことは言えないので税務署に聞いて下さい」と言われ、山口税務署に出向くと宇部税務署の管轄ですと、何と行政に振り回された一日でした。

日を改めて、宇部市役所に行き、税金はどうなるのかと聞くと「市民税は免税制度があります」と用紙をくれました。「県民税は？所得税は？」「県か宇部税務署に聞いてください」とのこと。隣の税務署に行くと聞きましたら、「県民税は免除制度があると思いますよ、県に聞いてください。冊子を販売する収入といってもほとんど赤字でしょ、申告しないで下さい」という。「追悼ひろばの所有を法人に名変したら、贈与税は？」「ケースバイケースですね、私は担当でないので返答できません」とのやり取り。行政とは縦割りのな

第14回強制動員真相究明全国研究集会在開催されました！

去る8/27(土)新潟・佐渡で第14回強制動員真相究明全国研究集会在開催されました。この日は、平和フェスタ、BIYP企画と企画が重なり、運営委員の中でも参加できない人も多かったのですが、現地・オンラインを含め100名程度の参加、翌日のフィールドワークも50名の参加で、とても有意義な集会となりました。

「佐渡島の金山」は政府によって世界遺産登録に推薦が出されていましたが、7/28ユネスコから「不備」の指摘があり、現在、手続きは進んでいない状況です。

真相究明ネットワークは、1/25付けで緊急声明を出して佐渡鉱山(「佐渡島の金山」)の世界遺産登録問題に際し、日本政府が戦時の朝鮮人強制労働を否定するのではなく、認知することを求めました。

今回の研究集会で朝鮮人労働者の強制労働の実態が明らかになったと思います。負の歴史を「なかったこと」にするのではなく、正しく向き合い、後世に伝えていくことこそ、同じ過ちを繰り返さない第一歩ではないでしょうか。

だと改めて思い知らされました。各部署は行けば相手をしてくれましたが、そこで全てがわかるといふシステムではありませんでした。

ということ、収益事業をしない以上税金は免税されるであろうことがわかりました。NPO法人格を獲得し、もっと多くの人の協力と支援を頂けるように、寄付が所得控除の対象となる認定NPO法人を目指すべきと思います。私はその任務を責任もって達成していきます。

戦没者遺骨ガマフヤーと国の意見交換会に参加して

共同代表 井上 洋子

8月5日13時半より、厚生労働省、外務省(韓国担当)が出席して、戦没者遺骨問題について国との意見交換会が開かれました。

冒頭、ガマフヤーの具志堅隆松さんから「DNA鑑定でご遺族を特定して家族の元へ返すという方向を模索してきたが、沖縄の戦没者の遺骨は日本兵や沖縄住民だけでなく、朝鮮半島出身者、アメリカ兵、台湾人もおられて国際的な問題だ。戦後77年たってもなかなか進んでいないが、新たな光は安定同位体検査で、牛肉の産地偽装などに活用されているが、出身地だけでも解明ができれば、ふるさとは返すことができるのではないかと、これを進めていきたい。」とあいさつがありました。

近藤昭一議員は出席議員を代表し、「韓半島出身者を含め遺骨を返すべきだ」と挨拶されました。遺族からは、「遺骨は『ミミ』ではない、本人と家族のものであり政府のものではない。検査状況について毎年の報告がほしい」と、遺族に対して誠実な対応をするよう要望され、韓国遺族もオンラインで「日本政府は過ちを認めようとしていない、一日も早く遺骨を返してほしい」と怒りの訴えがありました。

No.86 日本に置かれている軍人軍属の鮮半島出身者の遺骨返還についても、遅々として進んでおらず、その原因が「返還の際には日本政府の謝罪は不可欠」と韓国側から求められていることにあるようです。それに対し上田慶司さんが、「過去の返還

の際には日本政府は謝罪をしていた、なのに今できないとはどういうことか」と鋭く切り込みましたが、「外交上のこと」として回答はありませんでした。

厚生省から、「今までは12の大学関係者のボランティアでDNA鑑定が行われてきたが、厚生省として今年度初めて鑑定人1名、技師2名の専門施設を作る」と報告がありました。今までボランティアが鑑定していたということと自体驚きでしたが、国の責任で鑑定するというささやかな一歩が始まったことは、大きな成果だと思えます。

具志堅さんは「市民団体がどこまでできるかわからないが、人道上の問題として政府も一歩下がりて頭を下げることも必要ではないか」と訴え厚生省との意見交換会を終えました。

引き続き、防衛省との意見交換会は、「辺野古基地建設のために遺骨の混じった沖縄南部の土砂を埋め立てに使うな」を軸に始まりました。

防衛省の若い官僚二人は、「変更承認後の土砂の調達先は決まっております、ご遺骨の問題は大変重要であると考えていることから、こうしたことも踏まえて、土砂の調達については、今後しっかりと検討してまいります」と、どの質問に対しても事前に用意したこの文面をオウム返しに何度も読み上げるだけで具体的な説明のひとつもなく、国民を愚弄しているのかと思うほど誠意のない回答に終始しました。その上、今後遺族の気持ちを聞く気もないと声明しました。硬直した対応にただただ呆れ、これが沖縄に対する現政府の姿勢そのものだと思います。

最後に具志堅さんは今後もさらに遺族の声を集め、ハリストを含めあらゆる闘いをしていくと強い決意を述べて、防衛省と対決していくことを表明され、上田さんからはこの意見交換会に「刻む会」が参加していることも紹介していただきました。戦没者遺骨問題を含め私たちもしっかり取り組む中で、相乗効果をあげていきたいと思いましたが。

活動日誌(前回たより以降) 太字は記事掲

7/14(木) 『たよりNo.85』発送作業(宇部市)

8/4~5(木・金) 第2回国会議員訪問(東京都)

8/5(金) 戦没者遺骨ガマフヤーと国の意見交換会(東京都)

会(東京都)

8/12(金) 第5回運営委員会(宇部市)

8/13(土) (日韓青少年交流B-Y-P 海岸deロウソクキャンペーン(宇部市)

ソクキャンペーン(宇部市)

8/17(水) 真相究明ネットワーク事務局会議(W e b)

8/24(水) 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議行動、県交渉等参加(山口市)

8/27(土) 平和フェスタ2022(W e b)

8/27(土) (日韓青少年交流B-Y-P 夏休みイベント(山口市)

8/27(土) 第14回強制動員全国研究集会(W e b)

9/14(水) 山口県国際課との懇談会(山口市)

山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市)

9/16(金) 第6回運営委員会(宇部市)

9/24、25(土、日) 1923記憶する行動・史跡探訪・第1弾(京都府)

跡探訪・第1弾(京都府)

補助金の復活を！
すべての子どもたちに学ぶ権利を！

運営委員 金静媛

山口県が山口朝鮮初中級学校に支給をして来た「私立外国人学校 特別補助金」(2013年度以降停止)の復活を求め、8月24日申し入れを行った。

呉栄哲校長、教員、朝鮮大学に通う卒業生らと、「朝鮮学校を支援する山口県ネットワーク」の日本人支援者ら、県は学事文書課私学振興班課長らが対応した。



最初に校長が水野学事文書課課長に、要請書を読み上げ手渡した。(以下、趣旨)

1. 県は、山口朝鮮初中級学校の補助金交付を再開するために、2023年度予算に計上すること。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための新事業を行う場合及び私立学校給食費等に係る物価高騰差額補助事業を他の小中学校及び幼稚園と同じように、山口朝鮮学園を補助対象とすること。

校長 本校を卒業した子どもたちの多くが福岡の高校に進学する。山口では補助がない、福岡では補助の対象になる。非常に理不尽。2023年3月に卒業する子どもは小中で一度も対象になることなく卒業する。毎月県庁で闘っていることを子どもたちは知っている。どうぞ皆さんが差別是正に力を貸してほしい。

水野課長 高校無償化は国の制度。山口には朝鮮高校がない。国・文科省の考え方。県は朝鮮学校を各種学校として認可。全国的な流れで本県でも認可した。1条校とは違う形で、ゆるやかな形での学校教育のあり方ととらえている。補助金について、県も2007年度から補助金制度を廃止して、2013年度から予算計上を見送った。3つの理由で見送り。

予算計上しないことが差別とは考えていない。1条校と各種学校の違いが大きなところかと思っている。補助金を出すことが県民の理解をえられないと判断している。

朝鮮大学生(金さん理工学部) 九州朝鮮高校から朝鮮大学校に進学。小さい頃からなかったが母の姿を見て高校に入って、どれだけ自分たちが差別を受けているのかを知った。夏休み帰省して、学童保育に参加。小学生とサッカーなど。無邪気に遊んでいる。彼らのために、こういう差別を受けていることについて腹が立つ。

高校無償化の適用がない。後輩たちにそんな思いをさせたくない。このような場で発言をさせたくない。さすがに長過ぎる。やる意味もわかりません。同じ量を払って、その分もらっていない。当事者ががんばらなければと思ってきたが、当事者は朝鮮人だけなのか。日本人ではないか。日本人が責任を持ってほしい。

朝鮮大学生(李さん) 法律学科3年で要請に参加3回目です。山口の朝鮮学校を卒業、九州朝鮮高校に通った。中学生のとき補助金停止、大学の緊急援助金からも排除。いつまでたっても差別の対象だと消えない心の傷が残っている。弁護士をめざすしている。

教育が人間の尊厳・人格確立のために不可欠。外国では異国で住みつつ民族教育を保障されている。植民地支配の責任。民族教育を保障する義務がある。裁判官は憲法判断を避け、忖度判決ばかり出している。どれだけ主張しても意味がないのではないか、と思わされる。

政治的外交的な理由で無償化排除、補助金停止。在日外国人は差別しているのだと思っている。後輩たちがあらゆる制度から排除されている。

今回の当局の回答には前進は無く、紋切り方の回答に終始。支援者と共に怒りを禁じ得なかった。当日、NHK、yabがタ刻のニュース報道した。

県庁要請行動にこなくてよいようにしてほしい。多様な民族が共生できる社会を求め。

支援者らから 国際条約 国連社会権規約、自由権規約、子どもの権利条約、国連人種差別撤廃委員会勧告など県が自身で資料を集めて判断すべきだ。

水野課長 県は予算計上しないことが差別とは考えていない。現場の学校の方々が差別と感じておられることは、心にとめさせていただきます。

尊厳をとったら生活を捨てざるをえない。生活をとったら尊厳を捨てざるをえない。日本人、朝鮮人が今後共生していくためには、真摯に向き合って、良心をもって、補助金の復活を求める。色眼鏡で見るのではなく、1人1人の人間として見てほしい。



要請書を学事文書課に渡す呉栄哲校長

平和フェスタ 2022 報告

8月27日の 東海大学教授 永山茂樹 氏 講演「日本憲法と平和」を聞いて

運営委員 浅田徹

ロシアのウクライナ侵攻はウクライナ政府による人権侵害を理由として、ウクライナに暮らす人々の人権を侵害するという深刻な矛盾を生んでいる。

人権侵害を理由にして、人権侵害をしているのだから問題が解決するはずもない。

「もし、9条がロシアに在ったなら」と永山先生は言う。

侵略戦争は認められず、ロシアが戦争を起こすことはできなかった。

紛争を戦争にさせず、粘り強い対話で解決を図ろうとすると、9条を持つ日本こそが紛争当事者国の間に入り、平和的解決の橋渡しをすることができる。

日本国憲法前文にある平和的生存権の保障は全世界の国民を対象にしている。

すべての権利のもとである平和的生存権、これを侵害する戦争を否定する第9条に自信を持ち、世界に9条を広げていくことは日本にしかできない。

9条を守り、広げることの意義を改めて強く感じた講演でした。

今年の平和フェスタは、この永山茂樹氏の講演をメインとして、様々な企画が計画されていました。

その一つに、例年通り、「刻む会」からの報告時間もありましたが、直前からのコロナウイルス感染症拡大に伴い、リアルでの開催を断念し、オンライン配信で講演会のみでの開催となりました。

なかなかコロナが収束しない中、いろいろ模索しながら今後も様々な形で、他団体とも共闘しながら長生炭鉱問題を広めていきたいと思っております。

会計報告(2022/7/1~2022/8/31)

【一般会計】

(円)

	科目	年度予算	期間実績	累計	達成率	備考
	歳入					
1	会費	600,000	52,000	431,000	71.8%	
2	寄付金	925,000	86,000	164,500	17.8%	※
3	物販	30,000	(1,400)	3,100	10.3%	前号誤記のため修正
	証言・資料集	25,000	(1,700)	1,400	5.6%	同上
	その他	5,000	300	1,700	34.0%	同上
4	雑収入	4,000	0	0	0.0%	
5	前期繰越金	127,138	0	127,138	100.0%	
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合計	1,686,138	136,600	725,738	43.0%	同上

	科目	年度予算	期間実績	累計	達成率	備考
	歳出					
1	事務費	40,000	6,175	14,178	35.4%	
2	広報費	425,000	73,338	83,370	19.6%	会報誌送料・印刷他
3	会議費	66,000	0	0	0.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	5,130	6,512	65.1%	電気代、防草シート
5	活動費	900,000	4,515	103,331	11.5%	
	学習会等	100,000	1,095	1,095	1.1%	FW 献花
	追悼集会	600,000	0	0	0.0%	
	その他活動	200,000	3,420	102,236	51.1%	龍門寺立会交通費
6	他団体会費等	50,000	5,000	5,000	10.0%	東京朝鮮人強制連行真相調査団
7	雑支出	20,000	317	1,534	7.7%	
	手数料	10,000	317	1,534	15.3%	郵便局
	その他	10,000	0	0	0.0%	
8	予備費	75,138		0	0.0%	
	小計	1,586,138	94,475	213,925	13.5%	
9	繰越金	100,000	42,125	511,813	511.8%	
	合計	1,686,138	136,600	725,738	43.0%	

※寄付者(敬称略)

安溪 遊地 岩瀬 三郎 岩本 乾治 内山 新吾 岡本 肇 小川 順子 落合紀久子
 杵泷 智子 古城美保子 佐川 恒夫 竹尾 久男 林 修二 福川 寿子 福島 直子
 福田 恵一 福田 紀子 藤井 晃暢 宮川 悦子 山崎浩志郎 在日本朝鮮民主女性同盟山口県本部
 その他匿名 9 件

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,218,889				
			繰越金	1,218,889	
合計	1,218,889		合計	1,218,889	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,651,054		国会議員訪問	74,014	2名 + α
繰入金	0		繰越金	1,577,040	
合計	1,651,054		合計	1,651,054	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

韓国富川(プチョン)青少年とのいきいき交流計画 (2013年開始)

BIYPの活動 報告と予定

2022.9

BUcheon IKKI-IKKI-ASIA YOUTH EXCHANGE PROGRAM (Since 2013)

〈報告〉 183本のろうそくwo 海岸de キャンペーン (宇部市/長生炭鉱前の海岸) 2022.8.13 土
直前の夕立も上がり、ピーヤの背後にキレイな虹を見ながら準備を行いました。ご近所に住むおじいさんとお孫さん夫婦や水非常で亡くなった方のご遺族家族とも一緒に長生炭鉱水没事故犠牲者183名を偲びました。



〈報告〉 韓国青年来日交流9thBIYPプレ集会 (山口市阿知須 砂郷公民館 2022.8.27土午後)
「アンニョンハセヨ/お隣の国の文化・遊びの集い」と銘打っての集会には地元の親子や中学生が参加し、民族楽器サムルノリ、チマチョゴリ試着、カイバイボじゃんけんを楽しんだあとは、①山口県立大学でのマルチリンガルスピーチコンテストで、高校生の部1位を受賞した西京高校の永藤諄(まこと)さんが長生炭鉱を取り上げた「2022 CHOUSEI TANKO」②韓国青少年との訪問交流やオンライン交流の様子 ③韓国富川(プチョン)からの紹介メッセージを上映し、11月に来日予定の交流にむけての機運を高めました。



(予定) 宋富子講演会 (宇部市内 日本キリスト教団宇部緑橋教会) 2022.11.5 土午後
高麗博物館(東京)名誉館長で、アラン文庫開設に尽力されているソンプジャ宋富子さん(神奈川県川崎市在住)を迎えての講演会。BIYPと「刻む会」が一緒になって開催します。詳細はP8のチラシでご確認ください。

(予定) BIYP活動紹介と座談会 (山口市阿知須図書館多目的ホール 2022.11.6日午後)
BIYPの活動紹介(映像、中高生の発表)と宋富子さんなどゲストを囲んでの座談会を準備しています

(予定) 韓国富川(プチョン)青年来日交流9thBIYP (予定) 2022.11.12 土-13 日
2013年から始まった青少年の日韓相互訪問。韓国富川(プチョン)の「青少年文化の家」の中学生がコロナの収束を願いながら訪問準備を進めています。来日が決定したら、日本側の参加中学生の募集や交流プログラム準備が本格化します。今回の交流拠点は、阿知須AJISU地区。もちろん長生炭鉱追悼ひろばでの訪問学習も行われます。

宋富子講演ツアー2022 宇部講演会

在日コリアンは
平和の使者である



ソンプジャ
宋富子さん

文化センターアラン副理事長、高麗博物館名誉館長
川崎市在住

命に劣っている、使われている、上品、下品の差はなかった。命の形は違っても、命の大事さはみな同じ。幸せはみんなて幸せにならないあかん。知らんことは恥やない。知ってる者から言ったらええ。知ろうと思ふ素直な心がまなんや。無知は自分の責任や。無関心は罪を作っている。知った者の責任は、知らせること。学問するってことは命愛することや。やった。ありのままの自分を愛する。愛するとき奇跡は創られるんや。

「愛するとき奇跡は創られる」より

2022.

11.5 (土)

13:30-15:30

日本キリスト教団

宇部緑橋教会

来場500円

(Zoom) 無料

(YouTube) 無料



カンパ歓迎

郵便振替 01590-7-32405 長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

(通信欄に「宋富子講演会」と明記してください。その旨 chouseitankou@gmail.com までご連絡ください)

共催 長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会 小畑太作 (080-8029-5599)
BIYP韓国富川(プチョン)青少年とのいきいき交流計画 森法房 (090-7992-6634)



＜コロナ感染対策にご協力ください＞
高熱や咳の疑いのある方は来場しないでください
受付で検温を実施し連絡先(電話番号)など記入願います。
終了後、感染(疑い)の場合には、直ちに連絡ください

宇部市民のみならず多くの皆さんに、奈良県の被差別部落で在日朝鮮人二世として生まれ、その後、神奈川県川崎市で暮らしながら様々な運動に関わってきたソンプさんの生き様に耳を傾けていただきたいと思います。

過去を知り、今を見つめながら、差別や偏見のない、すべての人が尊重される未来になるよう願っています。

主日礼拝のご案内

11.6(日)10:30-12:00

「愛には恐れはない」

説教 宋富子

日本キリスト教団

宇部教会・宇部緑橋教会

問合せ 小畑太作 (080-8029-5599)

今後の予定

- 2022年10月7日(金) 9:00~
愛知人権啓発企業連絡会 FW 下見 (宇部市)
- 2022年10月12日(水) 11:40~
山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会 (山口市)
- 2022年10月14日(金) 10:30~13:00
第7回運営委員会 (宇部市)
- 2022年11月5日(土) 13:30~15:30
宋富子講演ツアー2022 宇部講演会 (宇部市)
- 2022年11月29日(水) 詳細未定
韓国・観音宗 追悼集会 (宇部市)

《同封物》
振替用紙

宋富子 (ソンプジャ)

1941年、奈良県の被差別部落で在日朝鮮人二世として生まれる。結婚後、神奈川県川崎市に住むようになり、子どもの保育園入園をきっかけにしてキリスト教と出会う。初めて祖国と日本の歴史を学び、ありのままの自分を愛することを知り、民族と人権に目覚める。「川崎子どもを見守るオモニの会」会長を6年務め、さまざまな人権活動にかかわると同時に、全国各地での講演を行う。1988年より、自身の体験をまとめた在日三代史を一人芝居で公演するようになる。舞台上「戦争記念館」建設を呼びかけていたが、後に「高麗博物館をつくる会」に加わり、日本と朝鮮半島の交流の歴史を知る博物館実現に向けて尽力する。2001年、東京・新宿区大久保に「高麗博物館」開館。

『愛するとき奇跡は創られる—在日三代史』

三一書房 (2007/06 発売) より抜粋



事務局より

会員動静 (2022年9月14日現在)

正会員 135名 (総会比+2名)
賛助会員 276名 (総会比-3名)
寄付者 112名 (総会比±0名)
計 523名 (総会比-1名)

会員・寄付者募集中! 知人・友人にぜひ一声お願いします!

